

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7012	(H.22)No.	7012
-----------	------	-----------	------

事務事業名		水道事業会計			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
上下水道部		経営総務室		高津祥完	63-4114
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	2	上水道
	小施策	3	健全経営の推進
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード
水道事業会計		(中事業名) 予算書事業名
款		
項	(小事業名)	
目		

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>名張市水道事業基本計画に基づき、業務委託を推進するとともに上水道・下水道部門の連携を強化するなど経営の効率化、合理化を進めます</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>持続可能な水道事業経営及び安心安全な水道サービスの提供</p>
--	---

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)					
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)			
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 老朽化施設・管の更新・改良等 < H21繰越分 > 資本的支出22,555千円 < H22現年分 > 収益的支出1,553,807千円 資本的支出664,346千円 < H23年度への繰越明許費23,000千円 >	[事業内容(事業量)・事業費] 老朽化施設・管の更新・改良等 < H23現年分 > 収益的支出1,645,221千円 資本的支出1,061,634千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金	その他 ()	
			老朽化施設・管の更新・改良、送配水幹線の耐震化等	老朽化施設・管の更新・改良、送配水幹線の耐震化等	老朽化施設・管の更新・改良、送配水幹線の耐震化等	収益的支出 1,597,535千円 資本的支出 800,000千円	収益的支出 1,626,138千円 資本的支出 800,000千円	収益的支出 1,654,359千円 資本的支出 800,000千円
	直接事業費	(22,555千円) 2,021,837千円	2,477,567千円	2,189,989千円	2,218,592千円	2,246,813千円		
	財源内訳(千円)							
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他()	1,963,226	2,420,046	2,106,389	2,136,300	2,167,626			
一般財源	(22,555) 58,611	57,521	83,600	82,292	79,187			
人工数								
職員	28.00人	27.00人	24.00人	24.00人	24.00人			
臨時職員等	3.00人	4.70人	2.00人	2.00人	2.00人			
概算人件費	(0千円) 196,316千円	229,288千円	207,546千円	207,546千円	207,546千円			
+ 総事業費	(22,555千円) 2,218,153千円	2,706,855千円	2,397,535千円	2,426,138千円	2,454,359千円			

—概算人件費—は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。(実数値)

平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	-	-	-	93.0
	実績		100.3	100.7	98.2		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	56.0
	実績		53.7	54.0	55.8		
活動指標	目標	%	-	-	-	-	2.4
	実績		1.7	1.9	1.7		
考察及び今後の対応方針		総収支比率は、総収益を総費用で除した割合を示し、企業の収益的分析の代表的数値とされています。この比率は、損益計算上、収益で費用を賄うことができるかどうかを示すものであり、健全な経営状況を維持するため、95%以上の比率を目指します。					

6. 事業を取り巻く環境

<p>事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)</p> <p>給水人口の減少、市民の節水意識の向上及び景気低迷による使用量減少により、有収水量の減少が見込まれます</p>	<p>市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見</p> <p>水道料金を上げることは安易過ぎ、施設の老朽化は分かるが収入に見合った支出をするべき。 収入を増やす方法、支出を抑える方法を一般に問いかけてはどうですか【パブリックコメント】</p>
---	---

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について	経営の合理化・効率化、業務委託の推進
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか できる		クリーンエネルギーの導入調査・研究
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか できる		水道料金・体系の見直し、業務委託の推進
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか できる		
		資源の有効活用(建設副産物の再利用)

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

<p>総合評価(事業の展開方法) 継続(事務改善)</p> <p>(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 営業部門の外部委託の実施予定</p> <p>(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など さらなる経営の合理化・効率化を実施するうえでの水道料金・体系見直しの検討</p>	<p>特記事項</p>
---	-------------

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7601	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名		総務管理費(農業集落排水)			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
上下水道部		経営総務室		高津 祥完	63-4114
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	3年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	2	農業集落排水処理施設の整備
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	645201
農業集落排水事業特別会計		(中事業名)	予算書事業名
款	農業集落排水費	総務管理費	
項	総務費	(小事業名)	
目	総務管理費	総務管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
農業集落排水処理施設維持管理	

めざす効果(事業目的)	
農村地域の生活環境の改善、及び公共用水域の水質保全	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] 消耗品費 92千円 印刷製本費 197千円 光熱水費 23,375千円 修繕料 13,657千円 電話料 4,202千円 手数料 51,990千円 保険料 58千円 委託料 49,091千円 使用料及び賃借料 57千円 負担金 70千円 過年度使用料返還金 53千円 原材料費 186千円	[事業内容(事業量)・事業費] 消耗品費 200千円 印刷製本費 100千円 光熱水費 26,400千円 修繕料 20,300千円 電話料 4,300千円 郵便料 242千円 手数料 55,480千円 保険料 70千円 委託料 52,367千円 使用料及び賃借料 58千円 工事請負費 2,000千円 負担金 120千円 過年度使用料返還金 50千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
	直接事業費	143,029千円	161,687千円	150,000千円	150,000千円	150,000千円
財源内訳(千円)	国庫支出金					
	県支出金					
人工数	職員	2.00人	1.03人	1.03人	1.03人	1.03人
	臨時職員等		0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
	概算人件費	(0千円) 14,600千円	7,774千円	7,774千円	7,774千円	7,774千円
	+ 総事業費	(0千円) 157,629千円	169,461千円	157,774千円	157,774千円	157,774千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績		98.1	98.2	98.0		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
使用料徴収業務等の民間委託(平成23年12月より実施予定) 使用料の一元化(平成24年度より実施予定) 公営企業化(法適化)の検討	地区毎に異なる使用料格差の是正

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか <input type="text" value="実践していない(適当ではない)(へ)"/>	協働等の主な相手先について <input type="text"/>	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="市が直接実施"/>	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当である"/>		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="できる"/>		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である"/>		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="困難である"/>		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
<input type="text" value="継続(現行)"/>	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など <input type="text"/>	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 使用料の一元化(平成24年度より実施予定)により公共下水道事業及び戸別浄化槽事業との公平性を確保する 公営企業化(法適化)により明確な事業運営が可能となる	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7701	(H.22)No.	7008
-----------	------	-----------	------

事務事業名		総務管理費(公共下水道)			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
上下水道部		経営総務室		高津 祥完	63-4114
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	11年度~	平成	年度	下水道法

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	1	公共下水道の整備
重点施策コード		4-5. 下水道事業の計画的な推進	

2. 予算区分

会計区分		事業コード	660501
公共下水道事業特別会計		(中事業名)	
款	公共下水道事業費	総務管理費	
項	公共下水道事業費	(小事業名)	
目	総務管理費	総務管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
公共下水道事業における 事務的経費	
<ul style="list-style-type: none"> ・工事設計積算システム保守委託料 ・受益者負担金情報管理システム使用料 ・口座振替手数料 等 	

めざす効果(事業目的)	
設計システム、受益者負担金情報管理システムを導入すること及び料金徴収業務を上水道事業と共有することにより事務の効率化を図る。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()		
	<ul style="list-style-type: none"> ・工事設計積算システム保守委託料 1,085千円 ・受益者負担金情報管理システム使用料 3,660千円 ・下水道料金徴収業務等負担金 6,473千円 ・臨時職員賃金等2,046千円 ・その他 需用費等 1,888千円 		<ul style="list-style-type: none"> ・工事設計積算システム保守委託料 2,929千円 ・受益者負担金情報管理システム使用料 157千円 ・下水道料金徴収業務等負担金 9,568千円 ・臨時職員賃金等1,900千円 ・その他 需用費等 1,736千円 		平成24年度(計画) 平成25年度(計画) 平成26年度(計画)		
直接事業費	15,150千円	16,290千円	16,290千円	16,290千円	16,290千円	16,290千円	16,290千円
財源内訳(千円)							
国庫支出金							
県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	(0)	15,150	16,290	16,290	16,290	16,290	16,290
人工数							
職員	1.33人	1.33人	1.33人	1.33人	1.33人	1.33人	1.33人
臨時職員等	0.96人	0.96人	0.96人	0.96人	0.96人	0.96人	0.96人
概算人件費	(0千円)	26,616千円	26,988千円	26,988千円	26,988千円	26,988千円	26,988千円
+ 総事業費	(0千円)	41,766千円	43,278千円	43,278千円	43,278千円	43,278千円	43,278千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	%	96.8	92.6	94.2		
	実績						
下水道受益者負担金収納率(現年分)							
活動指標	目標	%	97.5	99.1	98.5		
	実績						
下水道使用料収納率(現年分)							
活動指標	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など	
事務的経費	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7704	(H.22)No.	7008
-----------	------	-----------	------

事務事業名	処理場管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	経営総務室	高津 祥完	63-4114
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 11 年度 ~ 平成 年度	都市計画法・下水道法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	1	公共下水道の整備
重点施策コード	4-5. 下水道事業の計画的な推進		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	661501
公共下水道事業特別会計	(中事業名)	
款 公共下水道事業費	処理場管理費	
項 公共下水道事業費	(小事業名)	
目 施設管理費	処理場管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要
市内の各地域から流入する下水を終末処理する中央浄化センター(蔵持町里)の維持管理

めざす効果(事業目的)
市民の快適な生活環境の創造と公共水域の水質保全を目的としています。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] 中央浄化センター維持管理費 ・維持管理委託料 117,015千円 ・光熱水費 19,973千円 ・修繕費 7,843千円 ・薬品費 6,958千円 ・その他 2,889千円	[事業内容(事業量)・事業費] 中央浄化センター維持管理費 ・維持管理委託料 140,481千円 ・光熱水費 31,930千円 ・修繕費 10,000千円 ・薬品費 9,140千円 ・その他 7,486千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
直接事業費	154,678千円	199,037千円	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
財源内訳 (千円)			中央浄化センター 維持管理費	中央浄化センター 維持管理費	中央浄化センター 維持管理費	
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
その他()						
一般財源	(0) 154,678	199,037	180,000	180,000	180,000	180,000
人工数						
職員	1.04人	1.04人	1.04人	1.04人	1.04人	1.04人
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
概算人件費	(0千円) 4,907千円	4,907千円	7,592千円	7,592千円	7,592千円	7,592千円
+ 総事業費	(0千円) 159,585千円	203,944千円	187,592千円	187,592千円	187,592千円	187,592千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	処理量	m ³	1,397,000	1,720,771	1,794,286	
	実績						
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について 事業者
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 中央浄化センター維持管理費	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7705	(H.22)No.	7008
-----------	------	-----------	------

事務事業名		管渠管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
上下水道部		経営総務室		高津 祥完	63-4114
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	11年度～	平成	年度	下水道法

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	1	公共下水道の整備
	重点施策コード	4-5. 下水道事業の計画的な推進	

2. 予算区分

会計区分	事業コード	661601
公共下水道事業特別会計	(中事業名)	
款 公共下水道事業費	管渠管理費	
項 公共下水道事業費	(小事業名)	
目 施設管理費	管渠管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	めざす効果(事業目的)
下水を終末処理場(中央浄化センター)へ流すために市内に設置されているマンホールポンプ(29箇所)の維持管理	安定した運転で確実に下水を中央浄化センターへ送水する。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] ・光熱水費 2,639千円 ・修繕費 6,088千円 ・通信費 660千円 ・維持管理委託料 6,189千円 ・使用料及び賃借料 613千円 ・工事費 218千円 ・消耗品、保険料 外534千円	[事業内容(事業量)・事業費] ・光熱水費 3,000千円 ・修繕費 9,800千円 ・通信費 790千円 ・維持管理委託料 5,900千円 ・使用料及び賃借料 649千円 ・工事費 8,100千円 ・消耗品、保険料 外1,626千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
主な事業の実績・計画			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
直接事業費	16,941千円	29,865千円	30,000千円	30,000千円	30,000千円	マンホールポンプ維持管理費
財源内訳(千円)						マンホールポンプ維持管理費
国庫支出金						マンホールポンプ維持管理費
県支出金						
地方債						
その他()						
一般財源	(0) 16,941	29,865	30,000	30,000	30,000	
職員	1.34人	1.34人	1.34人	1.34人	1.34人	
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
概算人件費	(0千円) 32,539千円	32,528千円	32,528千円	32,528千円	32,528千円	
+ 総事業費	(0千円) 49,480千円	62,393千円	62,528千円	62,528千円	62,528千円	

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	km	38	89	102		
	実績						
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 事業者
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など	
インターネット回線により常時監視し、異常があった場合は、中央浄化センター(委託業者)ならびに担当職員が対応できるようになっている。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7706	(H.22)No.	7008
-----------	------	-----------	------

事務事業名		公共下水道整備事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
上下水道部		経営総務室		高津 祥完	63-4114
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	11年度～平成	年度	都市計画法・下水道法・浄化槽法等	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	1	公共下水道の整備
	重点施策コード	4-5.下水道事業の計画的な推進	

2. 予算区分

会計区分		事業コード	661801
公共下水道事業特別会計		(中事業名)	
款	公共下水道事業費	公共下水道整備事業	
項	公共下水道事業費	(小事業名)	
目	建設費	公共下水道整備事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>中央処理区及び南部処理区を合わせた全事業費618億円の内、平成23年度は約8.5億円の投資事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名張地区面整備、住宅団地接続幹線管工事及び詳細設計 ・住宅団地管路施設老朽化に対して、長寿命化対策を含めた改築事業実施 	

めざす効果(事業目的)
<p>公共下水道の整備により、市民の快適な生活環境の創造と公共水域の水質保全を目的としています。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		
	主な事業の実績・計画 [事業内容(事業量)・事業費] H.21繰越分 282,445千円 ・第2系水処理施設建設、名張地区面整備(平尾・丸之内・松崎町外) H.22年現年分 1,035,938千円 ・第2系水処理施設建設、詳細設計(朝日町、桔梗が丘第2・3汚水処理場区域)、住宅団地(桔梗が丘)管路施設の老朽化に対する長寿命化対策を含めた改築事業実施設計 H.23年度への繰越明許費 186,439千円 名張地区面整備(平尾・松崎町外)	[事業内容(事業量)・事業費] ・名張地区面整備(柳原町・鍛冶町・上本町・本町)に伴う詳細設計及び住宅団地(富貴ヶ丘1期)への接続幹線管渠詳細設計等 106,700千円 ・名張地区面整備(アスピータ交差点から上本町交差点迄の県道奈良名張線)の幹線管渠及び住宅団地(桔梗が丘第2・3汚水処理場区域)の接続幹線管渠工事等 515,700千円 ・住宅団地(桔梗が丘) 管路施設の老朽化に対して、長寿命化対策を含めた改築事業実施 124,800千円 他事務費等		現在の実施手法(複数選択可) 市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()	
	(282,445千円)	1,035,938千円	767,770千円	773,122千円	1,296,472千円
財源内訳(千円)	国庫支出金	(141,478) 521,828	337,700	350,900	605,450
	県支出金	(0千円) 0	0		
	地方債	(120,100千円) 465,400	354,200	370,500	614,100
	その他(負担金)	35,570	15,940	51,722	76,922
	一般財源	(20,867) 13,140	59,930	0	0
人工数	職員	6.70人	6.70人	6.70人	6.70人
	臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	概算人件費	(0千円) 77,890千円	76,573千円	76,573千円	76,573千円
	+ 総事業費	(282,445千円) 1,113,828千円	844,343千円	849,695千円	1,373,045千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	公共下水道を利用できる市民の割合 (人口普及率)	%	-	-	-	26.0
	実績			15.8	16.1	16.7	
活動指標	目標	公共下水道に接続している人口	人	-	-	-	21,250
	実績			11,344	11,778	12,466	-
活動指標	目標	BOD値シャックリ川 町田橋(年平均)	mg/l	-	-	-	2.7
	実績			3.0	2.3	1.9	-
考察及び今後の対応方針	引き続き、公共下水道の普及拡大の促進を図ると共に、効率的で健全な公共下水道経営に取り組んでいきます。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
公共下水道整備が社会資本整備総合交付金(水の安全・安心基盤整備)による事業になり、整備計画の成果目標、定量的指標を公開していくことから、今後も公共下水道整備によるアウトカム効果を図ります。	名張地区市街地は下水道未整備であり、また、大規模住宅団地の汚水処理施設は老朽化が進んでいることから、それぞれの地域住民から公共下水道の整備が要望されています。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	外部(技術センター・コンサルタント)へ業務委託等により事業の進捗を図っています。
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	下水道整備に合わせ水道の管路整備を図っています。
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	「社会資本整備総合交付金」に係る「効果促進事業」の活用。
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか できる	未接続への普及促進のPR及び支援。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 「社会資本整備総合交付金」(水の安全・安心基盤整備)に基づく5ヶ年の整備計画と、これに係る「効果促進事業」の活用。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 「社会資本整備総合交付金」(水の安全・安心基盤整備)に係る5ヶ年の整備計画に基づき、事業実施をしていきます。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No. 7712 (H.22)No. 7008

事務事業名	施設整備費			事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
					扶助費
					補助金交付金
					投資事業
					施設等維持管理
					内部管理事務
					特別及び企業会計、組合
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先		
上下水道部	経営総務室	高津 祥完	63-4114		
新・継	事業期間	根拠法令等			
継続	平成 20 年度 ~ 平成 22 年度	浄化槽法等			

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	3	その他の生活排水処理
重点施策コード	4-5. 下水道事業の計画的な推進		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	662601
公共下水道事業特別会計	(中事業名)	
目 戸別浄化槽事業費	施設整備費	
項 戸別浄化槽事業費	(小事業名)	
目 施設整備費	施設整備費	

3. 事務事業の概要

事業概要	めざす効果(事業目的)
長瀬地区戸別浄化槽施設整備	戸別浄化槽の整備により、快適な生活環境の創造と水質保全を目的とする。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費] ・工事費 22,229千円 ・需用費 734千円 ・通信運搬費 50千円	[事業内容(事業量)・事業費] 長瀬地区の戸別浄化槽の設置が終了したため。	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	23,013千円	0千円	0千円	0千円	0千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金	7,668				
県支出金					
地方債	12,400				
その他(負担金)	2,867				
一般財源	(0) 78	0	0	0	0
人工数					
職員	1.00人				
臨時職員等	0.00人				
概算人件費	(0千円) 0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 23,013千円	0千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	戸別浄化槽設置基数	-	-	75		
	実績		27	23	25		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		平成22年度にて整備完了。					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか []	協働等の主な相手先について []	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) []	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
(2)(現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか []		
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか []		
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか []		
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか []		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
[]	
(1)短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
[]	
(2)「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など	
[]	